

エコアクション2.1

環境活動レポート

作成年月日 2009年 12月 16日



森信建設株式会社

【 目 次 】

1. 会社概要・沿革
2. 環境方針
3. 環境目標と活動の評価
4. 今後の取組み
5. 代表者による全体の評価と見直し
6. 環境関連法規制の遵守状況
7. その他の取組み

1. 会社概要・沿革

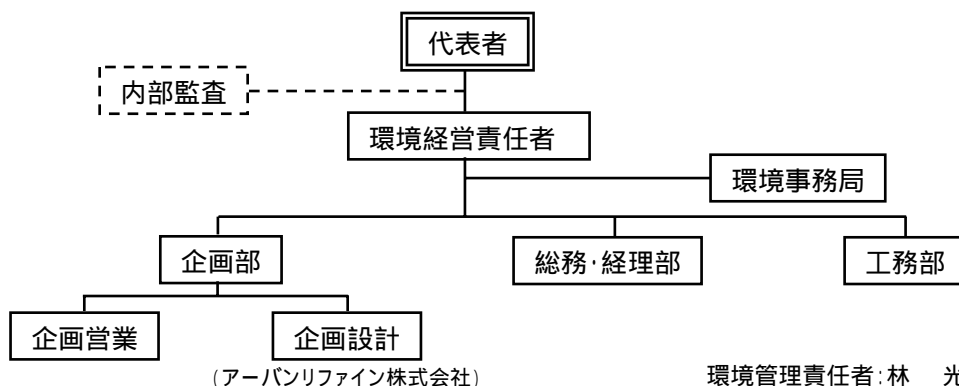
会社概要

商号	森信建設株式会社 MORINOBU CORPORATION
創立	明治24年4月1日(西暦1891年)
代表者	代表取締役 森信秀樹
資本金	20,000,000円
所在地	広島県広島市中区富士見町15番1号
TEL	082-244-3591
FAX	082-244-3593
URL	http://www.morinobu.jp/
E-mail	info@morinobu.jp
営業種目	総合建設業(建設工事)
許可登録	建設業 広島県知事(特-18)20号 宅地建物取引業 広島県知事 8第5142号 一級建築士事務所 広島県知事 第07(1)0443号
関連会社	アーバンリファイン株式会社 (街づくりコンサルタント、企画設計、建物運営管理)
売上高	906,789,000円(2008年度)
従業員数	15名
その他	外断熱体感型ショールーム『そとだん館』運営

沿革

明治24年	森信秀之助が代表者となり「森信組」を創業
大正2年	宇和島市に森信組宇和島支店を開設(現南興建設株式会社)
昭和26年	森信五夫 森信組代表者に就任
昭和32年	法人組織に変更「株式会社森信組」設立 代表取締役に森信五夫就任
昭和41年	森信毅(現会長)代表取締役に就任
昭和46年	社名を「森信建設株式会社」に変更
昭和55年	森信秀樹(現社長)入社 専務取締役に就任
昭和58年	新本社屋(第二森信ビル)竣工
平成3年	創業100周年を迎える
	企画コンサルタント会社「アーバンリファイン株式会社」設立
	森信秀樹 森信建設・アーバンリファイン代表取締役社長に就任
平成5年	「2001アクションプラン」を策定
平成10年	「2001アクションプランVr2」を策定、社章変更等CI事業を実施
平成13年	創業110周年を迎える
	ISO9001取得
平成15年	広島経営革新計画認定
平成18年	広島県経営革新計画変更計画認証 創立115周年を迎える

環境経営マネジメントシステム組織図



2. 環境方針

環境理念

私たち森信建設株式会社は、“ひと・ゆめ・まちをクリエイト”を企業理念とし、地球温暖化や限られた資源の枯渇への対応が重要課題との認識にたち、当社が担う建設事業・不動産事業・住宅事業にあって、その企画・設計・施工・運営管理の活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 具体的に次のことに取り組みます。

環境に配慮した行動指針

電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
水資源の削減

森信建設の業務における行動指針

環境に配慮した企画・設計

省エネ住宅の設計、有害物質を含まない材料の使用、環境に配慮した建材の提案、選択、外構の緑化提案など、企画設計でできる環境活動を行ないます。

環境に配慮した施工

無駄の無い現場監理、協力業者への取組みの推進、施工でできるエコ提案など、施工でできる環境活動を行ないます。

環境に配慮した製品の採用と普及

環境に配慮した製品の積極的な採用を目指し、イベントやセミナーの開催、ホームページからお客様へ向けての情報提供を行ないます。

本社、工事現場周辺の環境活動への積極的な参加

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

2008年12月11日制定

2009年12月10日改訂

森信建設株式会社

代表取締役 森信 秀樹

3. 環境目標と活動の評価

環境目標

環境目標	基準年度		スケジュール		
	基準値	単位	2009年度	2010年度	2011年度
電力使用量の削減(事務所)	7,297	kg-CO2	- 3%	- 5%	- 7%
電力使用量の削減(現場)	13,644	kg-CO2	- 3%	- 5%	- 7%
ガソリン使用量の削減	49,086	kg-CO2	- 3%	- 5%	- 7%
自動車の燃費の向上	10.0	km/L	+ 3%	+ 5%	+ 8%
灯油使用量の削減	984	kg-CO2	- 3%	- 5%	- 7%
都市ガス使用量の削減	59	kg-CO2	- 3%	- 5%	- 7%
一般廃棄物の削減	324	kg	- 10%	- 20%	- 30%
産業廃棄物の削減	360.0	t	- 2%	- 4%	- 6%
節水(事務所)	87.0	L	- 5%	- 10%	- 15%
節水(現場)	518.0	L	- 5%	- 10%	- 15%

環境活動の評価

環境に配慮した項目

環境目標	項目	取組み		評価	
		結果	判定		
電力使用量の削減(事務所) 単位 kg-CO2	目標値	3,595以下		各項目において、努力が見られた。 年間の取組みにおける目標値の達成に向けて、事務所、各現場単位で引き続き取り組む。	
	実績	2,848			
電力使用量の削減(現場) 単位 kg-CO2	目標値	7,989以下	×		
	実績	8,247			
ガソリン使用量の削減 単位 kg-CO2	目標値	23,518以下			
	実績	1,4673			
自動車の燃費の向上 単位 km/L	目標値	10.30以上			
	実績	10.98			
灯油使用量の削減 単位 kg-CO2	目標値	870以下			
	実績	0			
都市ガス使用量の削減 単位 kg-CO2	目標値	43以下			
	実績	33			
一般廃棄物の削減 単位 kg	目標値	108.0以下			産業廃棄物の削減に向けて努力すると同時にマニフェストの発行を徹底する。
	実績	90.0			
産業廃棄物の削減 単位 t	目標値	7.9以下	×		
	実績	80.0			
節水(事務所) 単位 L	目標値	43以下		事務所、各現場ごとに、節水の呼び掛けなど、具体的な活動を行うこと。	
	実績	42			
節水(現場) 単位 L	目標値	409以下	×		
	実績	505			

運用期間 2009年1月～2009年6月についての取組み結果

環境活動の評価

森信建設の事業に関する項目

環境に配慮した企画・設計

企画・設計が行うことのできる活動を適正に行いました。

省エネ住宅の設計。有害物質を含まない材料の使用、長寿命化、環境への配慮について、目標を定め、実施。対象の設計物件について目標値を超え、環境活動に積極的に取り組んだことがわかった。

特に、長寿命化についての取組みが多く、配管類の更新の容易性を高め、メンテナンスが楽で、長く使える建物の設計に努めた。

この度、森信建設で設計施工を行なった建物について紹介します。

ライサ小町

外断熱工法を採用した都市型賃貸マンションです。



工事の様子



杭工事



炭の埋設



配筋



外断熱

吉見園A邸

築40年の木造住宅の耐震改修を行ないました。



耐震改修だけでなく、古くなった水周りの設備も一新しました。



環境活動の評価

森信建設の事業に関する項目

環境に配慮した施工

工務部が、施工中に行うことのできる活動を適正に行いました。

建材・資材の再利用、工期短縮、無駄の削減、新エコ工法の採用、化学物質の管理について、目標を定め、実施。各現場で60%の目標値を超え、環境活動に積極的に取り組んだことがわかった。

特に、工期短縮については、すべての現場で積極的に実施されており、各現場責任者の環境への意識が向上されています。

この度、森信建設で新たに取り組み始めた新エコ工法について紹介します。

砕石パイルでの地盤改良



設計データによる位置へ杭芯をセット



予定杭長まで掘削。
直径は40cm



砕石を投入し、周辺圧密をしながら
砕石杭を構築。



完了

**自然素材のみを使うため、環境汚染を起こしません。
改良された地盤は、現状のまま100%リサイクルが可能です。**

環境基準をクリアした商品を採用。確認も徹底しています。



フローリング材



フローリング材



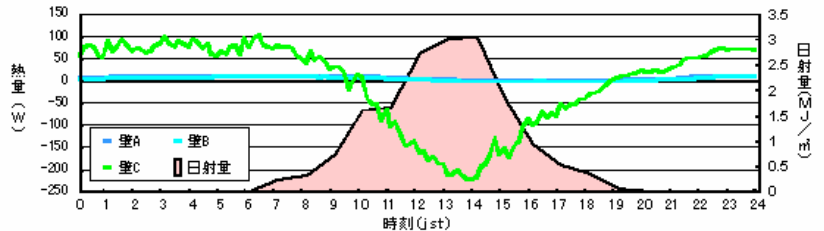
フローリング材

環境活動の評価

森信建設の事業に関する項目

環境に配慮した製品の採用と普及

2008年から本社1階部分を外断熱改修し、外断熱工法を体感できる「そとだん館」の運営を始めました。エンドユーザーの皆様へ、環境に優しい工法を知っていただくために、セミナーなどを開催。数時間、過ごしていただく事で、実際に外断熱の効果を実感していただけます。



夏季晴天日の熱伝導変化

壁A = ロックセルボード
壁B = ドライビット
壁C = 無断熱

外断熱を施工した壁では、外から中へ、また、中から外へ熱がほとんど伝わっていません。



外断熱を施工した外壁

3月に開催した第1回セミナー「春の寄せ植えセミナー」



皆さん、楽しそうに作業されていました。参考になったという声もたくさんいただきましたし、次回以降のセミナーの希望も頂きました。ありがとうございます。当日は、3月中旬でも、外の気温は10度もない寒さ。会場の中では、花を扱うこともあり、セミナーが始まる時には暖房を切ったのですが、さすが外断熱工法。終わりまでしっかりと暖かかったです。参加者の方にも、この外断熱の効果を実感していただきました。

本社、工事現場周辺の環境活動への積極的な参加

毎朝、始業前に会社や各現場周辺の清掃活動を行なっています。

2004年に続き2010年にも長年の清掃活動が認められ、広島市より表彰状をいただきました。



4. 今後の取組み

会社共通の取組み

	取組み内容
二酸化炭素排出量の削減	電気のスイッチ部への張り紙(節電意識の向上) 待機電力の抑制(外出時のパソコン電源OFFの徹底) クールビズ・ウォームビズの実施 エアコンの温度管理の徹底(夏場28度・冬場20度に設定) ガソリン使用量の削減(アイドリングストップ・自転車、自動二輪の利用)
省資源・廃棄物の3R	コピー用紙の使用量の節減(社内文書は裏紙を使用等) 事務所内でのゴミの分別の徹底(可燃ごみ、不燃ごみ、ビン缶に分ける) リサイクル率の向上(分別処理の徹底)
水資源の節水	水道への張り紙(節水意識の向上) トイレへ「水流し音発生器」を取り付け、トイレ用水を節水
清掃活動	毎朝の始業前に社員による会社や現場周辺の清掃活動

各部門での取組み

対象部門	取組み内容
営業部門	外断熱住宅の受注 環境に配慮した製品の積極的な採用・顧客への情報提供 ・定期的なイベント・セミナーの開催 ・インターネットを活用した情報提供
設計積算部門 (アーバンリファイン)	環境に配慮した建材の選択・提案 エコ建材の情報の収集 環境負荷の少ない商品への切替提案
総務経理部門	社内での二酸化炭素排出量・廃棄物削減に向けての活動の統括 環境負荷の少ない商品の購入(グリーン商品)
工務部門	現場周辺の清掃活動 環境負荷の少ない建材の採用(エコ商品・リサイクル建材など) 現場での電気・水道使用量の削減(協力業者への啓発・工期の短縮) 産業廃棄物の適正処理(マニフェストの発行) 協力業者への環境活動の推進 緊急事態の準備・対応訓練

5. 代表者による評価と全体の見直し

全体の評価と見直し

	環境管理事務局からの報告	代表者の評価と指示事項
環境方針について	それぞれの取組みについてさらに具体的な方法を定め、目標の大幅な達成を目指していきます。	政権交代を受け、CO2削減の一層の取組みが求められており、当社の方針もそれに沿った妥当なものであると考えます。
目標環境活動計画	各目標の責任者の役割を確立し、各目標を確実に達成できるようにします。	社内各部署において、目標の設定と実践、事後評価も適切に行なわせており、有効性を確認できた。
環境経営システムの各要素	今後システムの運営を進めて行く中で、さらに改善が必要な内容があれば、都度事務局内で話し合いを行います。	現在のシステムを維持し、各自の評価に反映させることを社長として検討する。

見直し日：2009年11月14日

6. 環境関連法規制の遵守状況

環境関連法規制の遵守状況

	法令のポイント	評価
廃棄物処理法	事業活動に伴って発生した廃棄物を自らの責任において適切に処理しなければならない。	
建築基準法	石綿含有建材の使用禁止・ホルムアルデヒドに関する規制	
労働安全衛生法	石綿使用建築物の解体・除去作業に関する規制	
騒音規制法	指定地域内での特定建設作業については工事開始日の7日前までに市町村長へ届出書の提出を行う	
振動規制法	指定地域内での特定建設作業については工事開始日の7日前までに市町村長へ届出書の提出を行う	
ラージリサイクル法	発生抑制・再利用、再使用、再資源化への努力	
浄化槽法	設置時の届出	
消防法	アスファルトなどの溶解作業に関する規制	
エネルギー使用合理化法	工法などの省エネ措置	
オフロード法	建設機械の適合証明	

現在は該当なし

環境関連法規などの違反、訴訟はありませんでした。
また、関係機関からの指導、指摘もありませんでした。

7. その他の取組み

外断熱工法の普及取組み



外断熱工法を当社ホームページにて宣伝

<http://www.morinobu.jp/>

当社施工の外断熱工法を採用した建物のほか、環境に配慮した建材を掲載

環境への意識向上



当社森信が、建築物総合環境性能評価システム（通称CASBEE）戸建て評価員試験に合格しました

住まいの環境効率を環境品質と環境負荷の割合で評価するCASBEEは、これからの家作りに際して求められる基準のひとつです。建物の品質を高めるとともに、負荷を下げる取組みなどを行い高い評価を得られるような工夫設計から施工、管理まで行って参ります。